

2019（令和元）年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

1) 強化関連会議・施策など

- (1) 強化委員会 3回/年(会議体のみ)、他メール・Web会議実施
- 「Japan Cup 2019」の実施(男子はスウェーデン、女子は中国を招聘)。「日韓定期戦」の実施。「Japan Cup 渋谷 2019」の実施(スロベニア・フランス・ブラジルを招聘)。これらの国際試合(国内開催)を通じて国際経験を積んだことはもちろん、東京五輪での地元開催大会のシミュレーションを行うことが出来た。
 - 2020年度強化スタッフを選定。(強化・情報科学・体力科学・医事委員会との協働)
 - 2020年度強化スケジュールを作成。
 - 2019年度「JOC強化指定選手」第2四半期～第4四半期の選出、JOCへの提出。
 - 2020年度「JOC強化指定選手」第1四半期の選出、JOCへの提出。
- (2) 協働コンサルテーション会議(スポーツ庁・JSC・JOC・JHA)2回/年
- 「2020・24強化戦略プラン」を改訂し、スポーツ庁・JSC・JOCと共有。

2) 国際大会・国際交流親善試合

| チーム名 | 大会名 | 日程 | 場所 | 結果 |
|---------|-------------------------|-------------|------------|--|
| 女子代表 | JAPAN CUP 2019 WOMEN | 06/17 | ANTC (非公開) | JPN 25 (13-09, 12-12) 21 CHN |
| 男女代表 | 日韓定期戦 2019 | 06/19 | 東京・立川 | 男 JPN 35 (12-12, 23-15) 27 KOR 女 KOR 31 (13-09, 18-11) 20 JPN |
| 男子代表 | JAPAN CUP 2019 MEN | 06/20-06/22 | 東京・立川 | SWE 30 (16-12, 14-13) 25 JPN SWE 36 (18-12, 18-13) 25 JPN |
| 男子 U-21 | 4 Nations Cup (U-21) | 06/28-06/30 | ポルトガル | 優勝:POR、2位:ISL、 3位:JPN 4位:ARG |
| 男女 U-22 | アジア U-22 選手権 | 07/14-07/21 | 香港・九龍 | 男 優勝:JPN、2位:KOR、3位:HKG 女 優勝:JPN、2位:KOR、3位:CHN |
| 男子 U-21 | 第22回男子ジュニア世界選手権 | 07/15-7/28 | スペイン | 優勝:FRA、2位:CRO、3位:EGY 18位 JPN |
| 女子 U-20 | 第15回女子ジュニアアジア選手権 | 07/20-07/29 | レバノン・バイルート | 優勝:KOR、2位:JPN、3位:CHN |
| 男子 U-19 | 第8回男子ユース世界選手権 | 08/06-08/18 | 北マケドニア | 優勝:EGY、2位:GER、3位:DEN 9位 JPN |
| 女子 U-18 | 第8回女子ユースアジア選手権 | 08/21-08/30 | インド・ジャイプール | 優勝:KOR、2位:CHN、3位:JPN |
| 女子 U-16 | 第23回日韓スポーツ交流 | 09/17-09/21 | 韓国・済州 | KOR 23 (16-08, 07-13) 21 JPN |
| 男子 U-16 | 日韓スポーツ交流 2019 | 09/24-09/29 | 韓国・済州 | KOR 25 (14-11, 11-13) 24 JPN |
| 女子 U-16 | 第23回日韓スポーツ交流 | 10/10-10/15 | 熊本県 | JPN 24 (14-14, 10-10) 24 KOR |
| 男子 U-16 | 日韓スポーツ交流 2019 | 10/10-10/15 | 熊本県 | JPN 26 (14-09, 12-16) 25 KOR |
| 女子代表 | JAPAN CUP 2019 渋谷 WOMEN | 11/21-11/24 | 東京・渋谷 | 優勝:FRA、2位:SLO、3位:BRA 4位 JPN |
| 女子代表 | 第24回女子世界選手権 | 11/30-12/15 | 熊本 | 優勝:NED、2位:ESP、3位:RUS 10位 JPN |
| 男子代表 | 第19回男子アジア選手権 | 01/16-01/27 | クウェート | 優勝:QAT、2位:KOR、3位:JPN |

3) 海外強化合宿

| チーム名 | 事業名 | 日程 | 場所 | 参加人数計(選手、スタッフ) |
|---------|---------|-------------|-------------|-------------------|
| 女子代表 | 第1回欧州遠征 | 05/26-06/11 | ルーマニア・デンマーク | 28名(選手21名、スタッフ7名) |
| 男子 U-21 | 欧州遠征 | 06/23-07/13 | ポルトガル・フランス | 22名(選手16名、スタッフ6名) |
| 女子代表 | 第2回欧州遠征 | 07/25-08/27 | デンマーク・ハンガリー | 27名(選手20名、スタッフ7名) |

| | | | | |
|---------|---------|-------------|--------------|--------------------|
| 男子 U-19 | 欧州遠征 | 07/28-08/03 | ドイツ | 24名 (選手18名、スタッフ6名) |
| 男子代表 | 第1回欧州遠征 | 08/01-08/15 | アイスランド | 22名 (選手16名、スタッフ6名) |
| 女子代表 | 第3回欧州遠征 | 09/19-10/01 | ノルウェー | 27名 (選手20名、スタッフ7名) |
| 男子代表 | 第2回欧州遠征 | 10/15-10/28 | フィンランド・ノルウェー | 25名 (選手18名、スタッフ7名) |
| 女子代表 | 第4回欧州遠征 | 10/20-11/03 | スペイン・デンマーク | 26名 (選手19名、スタッフ7名) |

4) 国内強化合宿 (男女代表)

| チーム名 | 事業名 | 日程 | 場所 | 参加人数 (役員・選手) |
|------|-----|--------------|--------------|--|
| 男子代表 | 第1回 | 03/19-04/06 | ANTC | 35名 (選手25名、スタッフ10名) |
| | 第2回 | 06/01-06/23 | ANTC | 29名 (選手20名、スタッフ9名) |
| | 第3回 | 12/16-01/13 | 北海道・函館市、ANTC | 34名 (選手21名、スタッフ13名) |
| | 第4回 | 03/17-03/31* | ANTC | 32名 (選手20名、スタッフ12名) *新型コロナウイルス感染症対策のため途中中止 (3/24) |
| 女子代表 | 第1回 | 05/14-05/25 | ANTC | 63名 (選手35名、スタッフ28名) コンディショニングクリニック含む |
| | 第2回 | 06/11-06/22 | ANTC | 31名 (選手24名、スタッフ7名) |
| | 第3回 | 07/17-07/25 | 熊本県、ANTC | 26名 (選手19名、スタッフ7名) |
| | 第4回 | 10/17-10/20 | ANTC | 25名 (選手18名、スタッフ7名) |
| | 第5回 | 11/04-11/29 | ANTC | 31名 (選手23名、スタッフ8名) |

5) 国内強化合宿 (男女アンダー代表)

| チーム名 | 事業名 | 日程 | 場所 | 参加人数 (役員・選手) |
|---------|-----|--------------|-------------|----------------------|
| 男子 U-24 | 第1回 | 03/20-03/22* | 愛知県・大同大学 | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| | 第2回 | 03/27-03/29* | 愛知県・大同大学 | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| 男子 U-21 | 第1回 | 04/01-04/15 | ANTC | 22名 (選手16名、スタッフ6名) |
| | 第2回 | 05/25-05/28 | ANTC | 30名 (選手19名、スタッフ11名) |
| | 第3回 | 03/04-03/06* | ANTC | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| 男子 U-19 | 第1回 | 04/01-04/19 | ANTC | 30名 (選手21名、スタッフ4名) |
| | 第2回 | 05/13-05/16 | ANTC | 24名 (選手20名、スタッフ4名) |
| | 第3回 | 06/25-06/28 | 埼玉県・大崎電気工業 | 25名 (選手20名、スタッフ5名) |
| | 第4回 | 07/26-07/27 | ANTC | 24名 (選手18名、スタッフ6名) |
| | 第5回 | 02/28-03/01* | ANTC | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| 女子 U-24 | 第1回 | 05/25-05/28 | 大阪府・大阪体育大学 | 24名 (選手21名、スタッフ3名) |
| | 第2回 | 03/17-03/20* | 石川県・北陸高校 | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| 女子 U-20 | 第1回 | 05/25-05/29 | ANTC | 27名 (選手23名、スタッフ4名) |
| | 第2回 | 06/23-06/27 | ANTC | 25名 (選手18名、スタッフ7名) |
| | 第3回 | 07/14-07/16 | 愛知県・ブラザー体育館 | 23名 (選手18名、スタッフ5名) |
| | 第4回 | 03/17-03/20* | 石川県・北陸高校 | *新型コロナウイルス感染症対策のため中止 |
| 女子 U-18 | 第1回 | 05/13-05/17 | ANTC | 22名 (選手19名、スタッフ3名) |
| | 第2回 | 06/23-06/27 | ANTC | 23名 (選手18名、スタッフ5名) |
| | 第3回 | 07/09-07/12 | ANTC | 23名 (選手18名、スタッフ5名) |
| | 第4回 | 08/15-08/18 | ANTC | 28名 (選手17名、スタッフ6名) |
| | 第5回 | 02/18-02/20 | ANTC | 26名 (選手20名、スタッフ6名) |

6) その他

| 事業名 | 日程 | 場所 | 参加人数 |
|---------------|-------|-------|------|
| トレーナーブロック長会議 | 07/06 | ANTC | 19名 |
| トレーナー総会 | 07/07 | ANTC | 102名 |
| 情報科学専門委員会全体会議 | 03/01 | メール会議 | 31名 |
| 体力科学専門委員会全体会議 | 03/01 | メール会議 | 31名 |

7) 日本代表チーム

- (1) 男子代表は、1月16日～1月27日にクウェートにて開催された第19回男子アジア選手権で第3位となり、上位4カ国に与えられる第27回男子世界選手権の出場権を獲得した。
- (2) 女子代表は、11月30日～12月15日に熊本県にて開催された第24回女子世界選手権において、過去最高位の第10位となった。

8) アンダー日本代表チーム

- (1) 男子アンダーについては、本年度は世界へのチャレンジであった。U-19代表は第8回男子ユース世界選手権において第9位となった。U-21代表は第22回男子ジュニア世界選手権において第18位となった。
- (2) 女子アンダーについては、本年度はアジアでのチャレンジであった。U-18代表が第8回女子ユースアジア選手権において第3位、U-20代表も第15回女子ジュニアアジア選手権において第2位となり、両カテゴリー揃って世界選手権の出場権を獲得した。

9) 分析活動（情報科学専門委員会）

各チームの大会等での分析サポートを実施した。

- (1) 男子代表については、JAPAN CUP、日韓定期戦、第19回アジア選手権大会とすべての大会にアナリストが帯同し、試合の撮影や分析サポートを実施した。また、国内合宿においては、チームサポートとともにSidelineを使用してのPlaybook作成を実施した。活動内容としては、大会中はスタッフのリクエストに対する映像編集作業を中心とし、トレーニング中は映像撮影を主な作業とした。また、トレーニング中撮影された映像は、Sidelineを利用して、スタッフ・選手のコミュニケーションツールとして活用された。
- (2) 女子代表については、JAPAN CUP、日韓定期戦、第24回世界選手権大会、そして国内合宿・海外遠征とすべての活動をサポートした。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。海外遠征、大会等においては、定量分析・定性分析を行い、相手チームの戦術分析や個々の特徴の整理、自チームの戦術分析等を実施し試合に活用した。
- (3) アンダーカテゴリーチームにおいては、第22回男子ジュニア世界選手権大会、第15回女子ジュニアアジア選手権大会、第8回男子ユース世界選手権大会、第8回女子ユースアジア選手権大会にアナリストが帯同し活動した。活動内容としては、自チームと相手チームに対する分析活動を行うとともに、各国の情報収集および情報の蓄積を図った。分析内容は、定量分析・定性分析を行い、スタッフ・選手の情報共有を図った。特に定量分析においては、TOP4のデータを抽出し、代表活動の指標となるよう試みた。
- (4) アナリストの人材育成としては、若手の登用、スキルアップ、実戦経験、チームスタッフとのコミュニケーション等を目的に、国内開催の国際大会を活用し、大きな実績を残した。（JAPAN CUP、女子世界選手権にて実施）。
- (5) 全てのカテゴリーにおいて、各大会後には量的分析レポートの作成・提出を標準化した。また、必要に応じてより詳細な分析によるテクニカルレポートを都度作成し、強化活動・トレーニングマッチ・国際大会等のパフォーマンス評価および改善に向けた課題の抽出に寄与した。

1 0) 体力サポート活動（体力科学専門委員会）

体力科学専門委員会が実施してきた体力向上事業は、特にジュニア選手の新体力データベース作成・基準づくり・現場運用を進めてきた。2017年度から継続している新体力テスト測定事業は今年度で3年目を迎え、現在までに計2,474名のジュニア選手の体力値を保有し、ビッグデータとしての価値を高めている。最もトレーナビリティが期待されるジュニア期の体力について全国レベルで把握し、その性別・年齢別に規準グレードを示すことは、適切な選手育成とチーム力強化に寄与すると思われる。事業の具体は以下の通りであった。

(1) 2019年度ジャパンライジングスタープロジェクト（J-STAR）：

競技転向型のタレント選手（2期生9名・3期生9名）の体力測定（選考測定と定期測定）、ならびに合宿期間中の体力トレーニング指導を実施した。日本ハンドボール協会（発掘委員会）、日本スポーツ協会、熊本県スポーツ協会、熊本県ハンドボール協会と連携し、体力測定内容（選手選考内容）の検討、測定実施、結果検討、トレーニング活用を進めた。

(2) 2019年度NTSトレーニングでの体力測定と体力基準づくり：

日本ハンドボール協会（NTS委員会）と連携し、NTS全国ブロックトレーニング実施時に参加選手の体力測定を行った。NTS内容策定委員会との協議により体力測定項目を決定し、全国の小学校5年生から高校2年生までの推薦選手851名（男子426名・女子425名）に対して測定を実施した。得られた結果を本委員会（国内測定プロジェクトチーム）で分析し、年齢別、性別、ブロック別等の集計結果（体力レベルの特徴・基準グレードの提示）をNTS連絡会議、情報科学・体力科学委員会会議、強化育成戦略会議上で発信した。また、NTSセンタートレーニング参加者70名（男子34名・女子36名）、NTAアカデミー参加者51名（男子26名・女子25名）についても同様の体力測定を実施し、セレクトレベル別の体力分析も行っている。なお、これまでの蓄積データから得られたジュニア選手の体力基準は、本委員会最新版として作成・補正したものをNTS委員会へ提供している。

(3) フィジカルトレーニング専門家の設置：

体力科学専門委員会に、医事委員会トレーナー部会から3名のフィジカルトレーニング専門家を委員として配置することで、ハンドボール選手の体力獲得に対してより実践的な分析を進める準備ができつつある。このような活動から、ジュニア期からの強化パスウェイに沿った体力値・トレーニングガイドラインの作成を目指す。なお、医事委員会トレーナー部会との連携を強化する目的として、2019年6月に医事委員会トレーナー部会長との体力測定事業合同会議、2019年7月に医事委員会トレーナー部会総会において「ハンドボールNTSにおける発掘育成の体力評価について」の講演（体力科学専門委員長）を実施した。

1 1) 医事活動および医科学調査研究（医事専門委員会）

(1) 2019年度 おりひめジャパン コンディショニングクリニック

実施日：5月14日～5月25日、場所：ANTC

対象：おりひめジャパン候補選手 約30名

- ハンドボールに関する各種測定（フィールド測定・筋力測定等）
- 動作機能評価と修正トレーニング・競技スキル
- バランスチェック・傷害調査・セルフコンディショニングツール（ONE-TAP）
- 栄養指導・アンチ・ドーピング指導・メンタル指導・行動規範指導

(2) 第24回女子ハンドボール世界選手権活動（11月30日～12月15日）

- トーナメントメディカルディレクター（佐久間）
- エリアマネージャー（陣上）
- マッチドクター（北岡、沖本、大西、丸箸、貝沼、村上）

(3) ジャパンライジングスタープロジェクト 3期生拠点県合宿医務班（熊本県山鹿市）

- 12月23日～26日、1月31日～2月2日（佐久間）

(4) 共同研究報告書 (4月20日)

- 「ハンドボール日本代表選手における強化合宿期間中のタンパク質代謝の把握」
味の素株式会社 オリンピック・パラリンピック推進室 室長 村上 崇

(5) トレーナー部会ブロック会議

実施日：7月6日 場所：ANTC (ハンドボールコート) 参加者：19名

- トレーナー部会内規について (ドラフトの承認)
- 各種大会の救護体制及びメディカルガイドラインについて
 - 各ブロックにおける大会開催時の救護体制について (会場ごとの情報が必要)
 - 各大会ドクタートレーナー配置状況 (基本的には配置なし)
 - ハンドボールメディカルスタッフ会議の開催について (JHL/学連に上申)
 - メディカルガイドラインの進捗並びにトレーナー部会へのインストール
- インカレサポートについて
- NTS について
 - ブロックトレーニング及びセンタートレーニングに関して各ブロックトレーナーが参加し BASIC7、BASIC7 PLUS の実施及び救急対応、体力測定などを実施
 - 課題として BASIC7 のテキスト動画作成の必要性、各会場における救急対応マニュアルの作成の必要性について報告
- 2019年度 AT 推薦について
- ハンドボールトレーナー 資格認定制度について
 - トレーナーのレベルの把握と向上、BASIC7 等のジュニア世代からの動作スキルの向上・全国区普及、ガイドラインの理解などが必要であり、次年度より実施を推進したい

(6) 第6回ハンドボールトレーナー部会総会

実施日：7月7日 場所：ANTC 大会議室 参加者：102名

- ドーピングコントロールの最新情報/メディカルガイドラインについて
(医事委員 井本光次郎)
- 2018年 全日本インカレ活動報告 (関西ブロック代表 酒本哲聖)
- ハンドボール NTS における発掘育成の体力評価 (体力科学委員会委員長 森口哲史)
- 女子ラグビーセブンス代表のコンディショニング ((公財) 日本ラグビーフットボール協会 女子コンディショニングコーディネーター 平井晴子)
- ハンドボール ACL 受傷におけるリスクと予防について
 - 受傷機転と予防について (医事委員 北岡克彦)
 - 動的バランスにおける ACL 発生リスクについて (大阪大学 小笠原一生)
- パネルディスカッション「ACL 予防に対する取り組み」
(北岡克彦、小笠原一生、平井晴子)
- 障害予防とパフォーマンス向上の関連性について
(Best Performance Laboratory 代表 桂良太郎)

1 2) スポーツ・インテグリティ教育 (インテグリティ専門委員会)

男女代表においては2019年度 JOC インテグリティ教育推進事業に則って実施し、アンダーカテゴリーにおいては個別実施した。

(1) オリンピック強化指定選手向け

- 基礎研修プログラム
 - 5月22日 男子3名・女子4名
 - 6月1日 男子3名
 - 12月25日 男子4名
 - 1月30日 女子1名

- 2月オンライン 女子1名
- 講師派遣研修プログラム
 - 【男子代表】
 - 4月6日 メディア対応（読売新聞）個別プログラム
 - 6月1日 日本代表としての行動規範（河上）
 - 6月2日 ハンドボール公式 SNS の説明
 - 6月2日 アンチ・ドーピング研修（沖本ドクター）
 - 6月3日 インテグリティ概論（JOC 上田大介氏）
 - *JOC インテグリティ教育事業
 - 6月13日 覚悟シリーズ 陸上 有森裕子氏
 - 8月14日 アンチ・ドーピング研修（沖本ドクター）
 - 12月19日 「肖像権とは？」（野呂副会長、米原常務理事）
 - 12月21日 リスクマネジメント研修（帝京大学片岡千恵氏）
 - *JOC インテグリティ教育事業
 - 12月22日 アンチ・ドーピング研修（沖本ドクター）
 - 12月22日 セルフマネジメント研修（ANA ビジネスソリューション）
 - *JOC インテグリティ教育事業
 - 1月8日 覚悟シリーズ 体操 水鳥寿思氏
 - 【女子代表】
 - 5月14日 日本代表としての行動規範（インテグリティ委員長河上）
 - 5月21日 アンチ・ドーピング研修（井本ドクター）
 - 5月23日 メディア対応（読売新聞）個別プログラム
 - 5月25日 SNS 研修（JOC 上田大介氏）
 - *JOC インテグリティ教育事業
 - 11月7日 「肖像権とは？」（米原常務理事）
- 自由参加型研修プログラム 各自個別申込
- オンライン研修プログラム（JOC アスリートアプリ）各自申込

参加者数 19/56

(2) ナショナルコーチ等・JOC 強化スタッフ向け

- JOC 自由参加型研修プログラム 下記より各自個別申込（自由参加）を促進
 - 第1回：11月29日 「優秀なリーダー（指導者）と言葉の重要性（コミュニケーションの難しさ）」 上野山信行氏
 - 第2回：12月13日 【外国人コーチ向け】「日本で働く外国人向けコミュニケーション術（日本の文化、日本人の習慣等）」 ANA ビジネスソリューション
 - 第3回：12月13日 【日本人コーチ向け】「異文化理解力を高める（外国人を受け入れる）」 JOC 国際人養成アカデミー／グロービス経営大学院
 - 第4回：12月20日 「危機を乗り越えるための謝る技術」 竹中功氏
 - 第5回：1月24日 「ソーシャルメディア（SNS）のリスク対策術」 上田大介氏
 - 第6回：2月19日 「孤立しない周囲のサポートを引き出す巻き込み力」 清水久三子氏
 - 第7回：3月2日 「競技団体におけるリスクマネジメント～日本卓球協会の事例について」 JOC ナショナルコーチアカデミー／競技団体におけるケーススタディ（新型コロナウイルス感染症対策により中止）

(3) その他選手・指導者向け

- NF 強化指定選手、ジュニア選手、所属・地域の指導者等対象
 - 【アンダー男子】
 - U-16：9月21日 日本代表としての行動規範（河上）

- U-19：4月22日 日本代表としての行動規範（河上）
6月25日 アンチ・ドーピング研修（松村ドクター）
7月26日 お金と信用（芳村ジュニア専任コーチ）
- U-21：5月25日 日本代表としての行動規範（河上）

【アンダー女子】

- U-16：9月14日 日本代表としての行動規範（河上）
- U-18：5月15日 日本代表としての行動規範（芳村ジュニア専任コーチ）
8月17日 アンチ・ドーピング研修（貝沼ドクター）
- U-21：5月26日 日本代表としての行動規範（芳村ジュニア専任コーチ）

(4) NF 担当者向け

- 5月10日 JOC-NF 担当者個別ミーティング（岸記念体育館）
- 6月24日 第1回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議（ANTC）
- 9月25日 第2回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議（JSOS）
- 3月24日 第4回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議（JSOS）
（新型コロナウイルス感染症対策により中止）
- JOC-NF テーマ別勉強会

(5) 強化部会

- 男子強化部会は、IHF コーチシンポジウム開催時に合わせ実施。各カテゴリーでの世界での戦いから得られた成果と課題をもとに、将来のアンダーカテゴリー強化について意見交換を行った。
- 女子強化部会は、男子同様に IHF コーチシンポジウム開催に合わせて実施した。各カテゴリーが次に世界へチャレンジするにあたり必要とされるサポート体制に関して意見交換を行った。

(6) 強化育成戦略委員会

強化・育成戦略委員会会議は、日程調整がつかず、会議実施出来なかった。

2. 指導・普及事業

<発掘部>

《NTS委員会》

1) ナショナルトレーニングシステム (NTS)

| 実施時期 | 概要 | 場所 |
|----------|---|--------------------|
| 4/20～21 | 第1回運営会議 | 大同特殊鋼 星崎工場 |
| 4/20～21 | 第1回指導内容策定会議 | 大同特殊鋼 星崎工場 |
| 5/25～26 | 第1回シミュレーション | 大同特殊鋼 星崎工場 |
| 7月～10月 | ブロックトレーニング | 全国9ブロック |
| 11/23～24 | 第2回シミュレーション | 大同特殊鋼 星崎工場 |
| 11/23～24 | 第2回運営会議 | 大同特殊鋼 星崎工場 |
| 1/4～6 | センタートレーニング (U-16) 参加者：男子34名、女子40名、スタッフ28名、 推薦指導者15名 | 大同特殊鋼 星崎工場 大同大学 |
| 1/11～13 | センタートレーニング (U-13) 参加者：男子32名、女子33名、スタッフ28名、 推薦指導者21名 | 大同特殊鋼 星崎工場 大同大学 |

《アカデミー委員会》

2) ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)

| 実施時期 | 概要 | 場所 |
|----------|------------------------|----------|
| 5/17～19 | 第1回育成合宿 参加者：68名 | ANTC |
| 6/28～30 | 第2回育成合宿 参加者：70名 | ANTC |
| 8/1～5 | 第1回大会視察 (全国小学生大会) | 京都府京田辺市 |
| 8/12～15 | 第2回大会視察 (全国中学生クラブ大会) | 大阪府堺市 |
| 8/20～23 | 第3回大会視察・選考 (全国中学校大会) | 兵庫県神戸市 |
| 8/25～9/3 | 欧州遠征 (男女) | ハンガリー |
| 9/14～16 | 第3回育成合宿 (女子対象) 参加者：25名 | ANTC |
| 9/17～22 | U16日韓親善スポーツ交流 (女子訪韓) | 韓国 |
| 9/21～23 | 第3回育成合宿 (男子対象) 参加者：25名 | ANTC |
| 9/24～29 | U16日韓親善スポーツ交流 (男子訪韓) | 韓国 |
| 10/7～9 | 第4回育成合宿) 参加者：選手41名 | 熊本県 |
| 10/10～15 | U16日韓親善スポーツ交流 (男女受入) | 熊本県 |
| 12/22～26 | 第4回大会視察・選考 (JOCカップ) | 埼玉県さいたま市 |

《キャラバン委員会》

3) ナショナルトレーニングキャラバン (NCa)

| 実施時期 | 概要 | 場所 |
|----------|-------------------------------------|--------|
| 9/13～15 | 第1回キャラバン in 岡山 参加者：選手60名、スタッフ14名 | 岡山県岡山市 |
| 10/26～27 | 第2回キャラバン in 宮崎 参加者：選手28名、スタッフ12名 | 宮崎県宮崎市 |

<普及部>

《学校体育専門委員会》

- | | | |
|-------------------|-------------|-------------------|
| 1) スポーツ庁訪問 | 期日：4/12 | 場所：スポーツ庁・政策課 |
| 2) 第1回学校体育専門委員会 | 期日：4/13 | 場所：東京都新宿区 |
| 3) 第2回学校体育専門委員会 | 期日：11/28 | 場所：熊本県菊池市 |
| 4) 第22回ハンドボール研究集会 | 期日：11/28～29 | 場所：熊本県菊池市 参加者：68名 |

《マスタース専門委員会》

- | | | |
|-----------------------------------|-----------|---------------|
| 1) 第1回マスタース専門委員会 | 期日：8/24 | 場所：愛知県豊田市 |
| 2) 第27回全日本マスタース大会（交流型・11人制・順位決定型） | 期日：8/2～4 | 場所：北海道札幌市・江別市 |
| 3) 第3回全日本マスタース大会（シニア） | 期日：12/6～8 | 場所：熊本県山鹿市 |
| 4) 第2回マスタース専門委員会 | 期日：3/3 | 場所：山梨県甲府市 |

<育成部>

《小学生専門委員会》

- | | | |
|--------------------------------|-------------|------------|
| 1) 第1回小学生専門委員会 | 期日：5/11・12 | 場所：ANTC |
| 2) 第2回小学生専門委員会 | 期日：8/1 | 場所：京都府京田辺市 |
| 3) 第32回全国小学生大会 | 期日：8/1～5 | 場所：京都府京田辺市 |
| 4) 第7回全国U-12指導者研修会 | 期日：11/16・17 | 場所：ANTC |
| 5) 第3回小学生専門委員会 | 期日：10/17 | 場所：ANTC |
| 6) 第4回小学生専門委員会 | 期日：1/18 | 場所：ANTC |
| 7) ブロック普及推進会議&大会等視察、J級指導員養成講習会 | | |
- 北海道：6/23・24、東北：6/17(J級)、関東：7/21・22、北信越：10/6・7、
東海：10/27・28、近畿：8/19、中国：9/30(J級)、四国：9/9(J級)、
九州：1/12-14

《中学生専門委員会》

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------|
| 1) 第10回全国中学生クラブチームカップ | 期日：8/13～15 | 場所：大阪府堺市 |
| 2) 第1回中学生専門委員会 | 期日：8/19 | 場所：兵庫県神戸市 |
| 3) 第48回全国中学校大会 | 期日：8/20～23 | 場所：兵庫県神戸市 |
| 4) 第2回中学生専門委員会 | 期日：12/22 | 場所：埼玉県さいたま市 |
| 5) 第28回JOC大会 | 期日：12/22～26 | 場所：埼玉県さいたま市 |

3. 競技運営に関する事業

1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

| 月 | 大会名 | 開催日程 | 開催地 | 結果 |
|----|--------------------------------|---------|----------------------------------|--|
| 4月 | 第16回東アジアクラブ選手権 | 4/25-28 | 韓国・仁川 | 男子 1;斗山 2;トヨタ車体 3; SK HAWKS 女子 1;仁川 2;北國銀行 3; 釜山 BISCO |
| 5月 | 高松宮記念杯第9回全日本社会人選手権大会 | 5/16-20 | 福井市・永平寺町 福井県営体育館、北陸電力福井体育館フレア | 男子 1;大崎電気 2;トヨタ車体 3:大同特殊鋼 女子 1:北國銀行 2:ソニー 3:オムロン |
| 6月 | JAPAN CUP 2019 WOMEN | 6/17 | 東京都内 | 女子 日本代表 25-21 中国代表 |
| | 日韓定期戦 2019 東京 | 6/19 | 東京都 ・立飛アリーナ | 男子 日本代表35-27韓国代表 女子 日本代表20-31韓国代表 |
| | JAPAN CUP 2019 東京 | 6/20・22 | 東京都 ・立飛アリーナ | 男子 日本代表25-30スウェーデン代表 日本代表25-36スウェーデン代表 |
| | 4 Nations Cup (U-21 男子) | 6/28-30 | ポルトガル | 男子 1;ポルトガル 2;アイスランド 3;日本 |
| 7月 | 第39回西ブロッククラブ選手権大会 | 7/6・7 | 沖縄県・浦添市、八重瀬町、ANA アリーナ浦添 | 男子 1;あらかき歯科 2;那覇西クラブ 3; UNION大分、高知クラブ 女子 1;那覇西クラブ 2; 宜野湾ガス 3; コスモスビッキーズ、HC 長崎 |
| | 第22回ヒロシマ国際大会 | 7/25-28 | 広島県・広島市 マエダハウジング東区スポーツセンター | 女子 1;イズミメイプルレッズ 2;大阪体育大学 3; 光州都市公社 |
| 8月 | 高松宮記念杯第70回全日本高校選手権大会 | 8/4-9 | 熊本県・山鹿市 山鹿市総合体育館他 | 男子 1; 県立香川中央高 2; 愛知高 3; 興南高、瓊浦高 女子 1; 明光学園高 2; 白梅学園高 3; 県立那覇西高、大分高 |
| | 第32回全国小学生大会 | 8/1-5 | 京都府・京田辺市田辺中央体育館他 | 男子 1;桃園HC 2;窪スポーツ少年団 3; 霧島ジュニアHC、松井ヶ丘小学校HC 女子 1;薪小学校HC 2;松井ヶ丘小学校HC 3;リトル Sun'sHC・比美乃江HC |
| | 第27回全日本マスターズ大会(総合型) | 8/3-5 | 北海道・札幌市、江別市 野幌総合運動公園体育館他 | 7人制男子交流型:27チーム 7人制女子交流型:12チーム 男子順位決定型:1;トヨタ紡織九州レッドインパルス 2;湘南シーガルズ 3;大阪330HC 11人制大会:1;横浜平沼マスターズ・HC みやびマスターズ・湘南シーガルズ 2;台北女子手球隊 3;広尾クラブ・HC みやびマスターズ・葵クラブ・松門会 |
| | 第24回ジャパンオープントーナメント鹿児島国体リハーサル大会 | 8/9-13 | 鹿児島県・霧島市 霧島市溝辺体育館、霧島市横川体育館 他 | 男子 1;HONDA 2;FOG 3;Various鹿児島 女子 1;香川銀行 T・H 2; ザ・テラスホテルズ 3;オレンジクラブ |
| | 第10回全国中学生クラブチームカップ | 8/12-15 | 大阪府・堺市 家原大池体育館、堺市金岡公園体育館 | 男子 1; 山梨市HC、大阪RSC、HC福岡、ヴァルト岐阜 女子 1; HC 千葉ジュニア、大阪ジュニアクラブ 3; 霧島クラブ、とびうめジュニア ※台風 10 号接近に伴い、男子準決勝、男女決勝戦は中止した。 |

| | | | | |
|---------|--|-----------------|---|--|
| | 第48回 全国中学校大会 | 8/20-23 | 兵庫県・神戸市 神戸ワールド記念ホール、グリーンアリーナ神戸 | 男子 1;扇台中 2;香川第一中 3;大体 大浪商中,氷見北部中 女子 1;芦城中 2;寺井中 3;香川第一中, 岩崎中 |
| | 第46回 全国高等専門学校 選手権大会 | 8/23-25 | 山口県・周南市 キリンビバレッジ周南市 総合スポーツセンター | 男子 1;徳山高専 2;高知高専 3;国際高専・秋田高専 |
| | 第27回日韓中ジ ニア交流大会 | 8/23-29 | 中国・湖南省長沙市 | 男子 1;韓国 2;中国 3;日本 女子 1;韓国 2;中国 3;日本 |
| 9 月 | 第27回全日本 ビーチハンドボール 選手権大会 | 8/25-26 | 愛知県・ 碧南緑地ビーチコート | 男子 1;東海Weeds!A 2;東海Weeds!B 3;MJクラブ 女子 1;KUNOICHI 2;日本体育大学 3;東海 Weeds! |
| | 第23回日韓スポ ーツ交流 (派遣/女 子) | 9/17-21 | 韓国・済州 | 日本代表 U-16 21-23 韓国代表 U-16 |
| | 日韓スポーツ交流 2018 (派遣/男子) | 9/24-29 | 韓国・済州 | 日本代表 U-16 24-25 韓国代表 U-16 |
| 10 月 | 第74回 国民体育大会 | 10/3-7 | 茨城県・坂東市、常総 市、守谷市 | 成年男子 1;埼玉県 2;茨城県 3;宮城県 成年女子 1;石川県 2;茨城県 3;広島県 少年男子 1;香川県 2;大阪県 3;茨城都 少年女子 1;福岡県 2;東京都 3;大分県 |
| | 第23回日韓スポ ーツ交流 (受入/女 子) | 10/10-15 | 熊本県・山鹿市 | 日本代表 U-16 24-24 韓国代表 U-16 |
| | 日韓スポーツ交流 2019 (受入/男子) | 10/10-15 | 熊本県・山鹿市 | 日本代表 U-16 26-25 韓国代表 U-16 |
| 11 月 | 文部科学大臣杯 第17回日本車椅子 競技大会 | 11/9-10 | 徳島県・大塚スポーツ パーク、アミノバリュー ホール | 1;大阪体育大学 APES-P 2;すわろーず 3;ほいっっちゃあず |
| | 高松宮記念杯男子 第62回女子第55回 全日本学生選手権 大会 | 11/8-12 | 宮城県・宮城郡利府町、 仙台市 セキスイハイム スーパーアリーナ (グラ ンディ・21) 他 | 男子 1;筑波大学 2;日本体育大学 3;法政大学、中央大学 女子 1;大阪体育大 2; 筑波大 3;東海大、東京女子体育大 |
| | 第24回女子世界 選手権 | 11/30- 12/15 | 熊本県・パークドーム 他 | 1;オランダ 2;スペイン 3;ロシア 10;日本 |
| 12 月 | 第3回全日本マスタ ーズシニア大会 | 12/6-8 | 熊本県・山鹿市 鹿本体育館 | 1;横浜平沼マスターズB 2;東京都社会 人連合 3;HC名古屋中部トリームス |
| | 第71回 日本選手権大会 (女子の部) | 12/24-28 | 広島県・広島市 マエダハウジング東区ス ポーツセンター他 | 1;北國銀行 2;大阪体育大学 3;ソニー、飛騨高山ブラックブルズ岐阜 |
| | 第28回 JOC ジュニア オリンピックカップ | 12/22-26 | 埼玉県・ サイデン化学アリーナ 他 | 男子 1;大阪府選抜 2;福井県選抜 3;愛知県選抜・香川県選抜 女子 1;石川県選抜 2;埼玉県選抜 3;千葉県選抜・愛知選抜 |
| 1 月 | 第71回 日本選手権大会 (男子の部) | 11/19-24 | 東京都・ 国立代々木競技場 他 | 1;大崎電機 2;トヨタ車体 3;大同特殊鋼・豊田合成 |
| | 第19回 男子アジア 選手権大会 | 1/16-27 | クウェート | 1;クウェート 2;韓国 3;日本 |

| | | | | |
|----|--------------------------|---------|-----------------------------|----------------------------------|
| 2月 | 全日本社会人 チャレンジ2019 | 2/14-16 | 鹿児島県・霧島市 霧島市溝辺体育館 他 | 1; Various鹿児島2; 柝の葉クラブ 3; 東ソー |
| 3月 | 第44回日本リーグプレーオフ | 3/13-15 | 東京都・駒沢体育館 | ※開催中止※ |
| | 第15回 春の全国中学生 選手権大会 | 3/25-29 | 富山県・氷見市ふれあい スポーツセンター他 | ※開催中止※ |
| | 第43回 全国高等学校 選抜大会 | 3/24-29 | 埼玉県/千葉県 ・キッコーマンアリーナ 他 | ※開催中止※ |

2) その他の事業

- (1) JHA 主催大会（ジャパンオープン、国体、日本選手権）、JAPAN CUP、日韓定期戦の競技運営並びに支援にあたった。
- (2) 令和元（2019）年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した。
海外移籍、国体登録について、登録違反が見受けられたため、注意勧告を行うと共に、再発防止に向け注意文書の作成を行い、2019 年度に向けて公開した。
- (3) JHA オフィシャル・テクニカルデレゲートの任務を発行し、業務に関する周知を図った。また、2020 年度版について、世界選手権で得たノウハウを基に、改訂版を発行すべく、具体的なMO・TDの任務にも言及、事例研究も数多く掲載し、内容の見直しを図った。
- (4) 競技役員員の資質向上のため、講習会を開催した。
8 月 鹿児島県霧島市：ジャパンオープン
10 月 茨城県守谷市：国体
3 月春中は中止
- (5) 10 月 第 80 回国民体育大会（令和 6（2025）年度）正規視察（青森県）を実施した。
- (6) 競技運営連絡協議会を 6 月、10 月、2 月の 3 回実施し、各ブロック協会、各連盟との大会運営、競技運営についての情報共有、相互理解を図ることができた。
- (7) 同上の会議において、令和 2 年度からのジャパンオープントーナメント並びに日本選手権の競技方法の見直しや日本選手権の誘致方法の見直しを協議し、常務理事会に提案した。
- (8) 熊本世界選手権大会における NTO（SK・TD、及びスカウティング）の養成・派遣を東京オリンピックテストイベントと合わせて実施した。

4. 審判に関する事業

1) 主な事業 (斜体は国際大会)

| 月 | 事業名 | 開催日・期間 | 開催地 | 概要および実績 |
|----------------------|-------------------------------------|-----------------|--|--|
| 3 | 第44回JHLレフェリー選考研修会 | 3/30-31 | 東京都北区(NTC) | JHLレフェリー候補者51名、競技本部長、審判委員長、JHL委員長、JHL審判委員会 筆記、体力審査および講義 |
| | 第1回審判委員会(兼第1回競技規則研究委員会・審判指導に関する委員会) | 3/31 | 東京都北区(NTC) | 出席者：10名 年間事業の確認 等 |
| 4 | ブロック審判長会議 | 4/13 | 東京都北区(NTC) | 出席者：競技本部長、審判委員長、審判総務、ブロック審判長 上級審査会、全日本大会打ち合わせ |
| | 全国審判長研修会・マッチオフィシャル、TD研修会 | 4/14 | 東京都北区(NTC) | 出席者：審判長41名 TD関係9名 審判指導の方向性 TD研修 グループ協議 情報交換 |
| | 第16回東アジアクラブ選手権 | 4/25-28 | 韓国 仁川 | TD：仲田 稔 レフェリー：臼井健、河合威延 |
| | 第1回レフェリーアカデミー | 4/27・28 | 広島県広島市(広島経済大学) | 受講者7名 指導者2名 |
| | 第2回競技規則研究委員会 | 4/27・28 | 広島県広島市(広島経済大学) | 出席者 競技規則研究委員2名、審判委員長 レフェリーハンドブック2019-2020の作成 |
| | 近畿A級審査会 | 4/27・28 | 京都府(佛光大学他) | 受験者 12名 審査員 3名 |
| 5 | 関東A級審査会 | 4/27・28 5/12 | 埼玉県飯能市(駿河台大学) | 受験者 20名(4/27 6名 4/28 10名 5/12 4名) 審査員 5名 |
| | IHFトロフィー(アジアゾーン) | 5/1-5 | インドネシア | レフェリー：臼井健、河合威延 |
| | 九州B級審査会 | 5/11-12 | 鹿児島県霧島市 | 受験者 12名 審査員 4名 |
| | IHFトロフィー(アジアゾーン) | 5/26-30 | 台湾 | レフェリー：古川英樹、村田哲郎 |
| 6 | レフェリーアカデミー現地指導 | 6/2 | 香川県高松市 | 指導者：太田智子 受講生：八重 安由美 |
| | 東海B級審査会 | 6/15・16 | 愛知県(愛知県体育館) | 受験者 7名 審査員 4名 |
| | 近畿B級審査会 | 6/15・16 | 兵庫県(グリーンアリーナ神戸) | 受験者 13名 審査員 5名 |
| | 北海道B級審査会 | 6/15・16 | 北海道江別市(江別市民体育館) | 受験者 1名 審査員 2名 |
| | 女子ジャパンカップ(中国戦) | 6/17 | 東京都北区(NTC) | レフェリー：古川英樹、村田哲郎 |
| | 2019日韓定期戦 | 6/19 | 東京都(アリーナ立川立飛) | TD：高野 修 後藤 登 仲田 稔 富田 拓 レフェリー：RUS、SWEより招聘 |
| | 男子ジャパンカップ(スウェーデン戦) | 6/20・22 | 東京都(アリーナ立川立飛) | TD：高野 修 後藤 登 仲田 稔 富田 拓 レフェリー：池淵智一、檜崎 潔、太田智子、島尻真理子 |
| | 2019女子世界選手権プレコース | 6/21-23 | デンマーク | レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| | 全日本大会担当レフェリー研修会(兼第2回レフェリーアカデミー) | 6/22・23 | 東京都北区(NTC) | 受講者 155名(うちレフェリーアカデミー生7名) 運営 12名 |
| | 関東B級審査会 | 6/28・29・30 | 埼玉県(東松山市民体育館 他) | 受験者 A級5名 B級13名 審査員 8名 |
| 第44回JHL監督・レフェリー合同研修会 | 6/29 | 東京都品川区 | 運営 4名 チーム役員 16名 レフェリー 52名 開幕前における判定基準の確認 意見交換 | |

| | | | | |
|-------|--|-------------|-----------------|--|
| | 「コーチ3」講習会講師派遣 | 6/30 | 東京都北区(NTC) | 講義「競技規則の適用」 講師：福島亮一 |
| 7 | 沖縄地区B級審査会 | 7/5・6 | 沖縄県浦添市(ANAアリーナ) | 受験者 7名 審査員 2名 |
| | レフェリアカデミー現地指導 | 7/7 | 岐阜県岐阜市 | 指導者：太田智子 受講生：若森紗羅良 |
| | アジアU-22(男子・女子)ハンドボール選手権 | 7/14-21 | 香港 | TD：仲田 稔 富田 拓 レフェリー：白井健、村田哲郎 |
| | 第22回男子ジュニア世界選手権 | 7/15-28 | スペイン | レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| | 第22回ヒロシマ国際大会 | 7/26-28 | 広島県広島市(東区SC) | レフェリー：佐々木皇介、馬場智也、島尻真理子、若森紗羅良 |
| 8 | IHF トロフィー(オセアニアゾーン) | 8/11-16 | ニューカレドニア | TD：福島亮一 |
| | 第8回女子ユースアジア選手権 | 8/21-30 | インド | レフェリー：古川英樹、村田哲郎 |
| | 日本トップリーグ連携機構審判研修会・審判長研修会 | 8/24・25 | 東京都新宿区(JSOC) | 審判研修会：島尻真理子、本田昭太、白井健、伊東史裕、菅原圭悟 審判長研修会：福島亮一 |
| | 中四国B級審査会 | 8/24・25 | 広島県広島市 | 受験者5名 審査員2名 |
| 9 | レフェリアカデミー現地指導 | 9/15 | 京都府(京都産業大学) | 指導者：太田智子 受講生：堀田佑佑 |
| | 女子オリンピックアジア予選 | 9/21-29 | 中国 | レフェリー：太田智子、島尻真理子 TD：福島亮一 |
| | 九州地区A級審査会 | 9/21-23 | 鹿児島県霧島市 | 受験者 13名 審査員 6名 |
| 10 | 第2回審判部会 | 10/5・6 | 茨城県(国体に合わせて) | 競技本部長・審判本部長・審判副委員長・審査指導委員・視聴覚委員会委員長・審判総務委員長 7名 |
| | 男子オリンピックアジア予選 | 10/17-27 | カタール | レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| | 第3回レフェリアカデミー | 10/18-20 | 福岡県宗像市 | 受講者7名 指導者2名 |
| 11 | 男子アジアクラブリーグ | 11/7-17 | 韓国 | TD：仲田 稔 レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| 11/12 | 女子世界選手権 | 11/30-12/15 | 熊本県 | レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| 12 | 第3回競技規則研究委員会 | 12/28 | 広島 | 競技本部長・審判本部長・競技規則研究委員長・委員 2020年度審判研修会資料作成 |
| 1 | NTS センタートレーニング | 1/6・13 | 愛知県 | 1/6 本田昭太、白井 健 1/13 島尻 真理子 氏を派遣 |
| | 第3回審判部会 | 1/12 | 東京都北区(NTC) | 競技・審判本部長・審査委員長・審判総務 他 審判合同会議に向けての打ち合わせ |
| | 男子アジア選手権 | 1/16-28 | クウェート | TD：仲田 稔 レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 |
| 2 | 審判部合同委員会 | 2/1・2 | 東京都大橋会館 | 競技・審判本部長・各専門委員会委員長・ブロック 審判長・連盟審判長・審判総務委員 |
| | 2020年度全日本大会担当審判員候補者研修会 ※関東・近畿・中国は中止 | 1/末-3/末 | 各ブロック | 各ブロック審判長・各ブロック審査員 |
| 2 | 第4回レフェリアカデミー 兼A級審判審査会 | 2/22・23 | 愛知県豊田市 | 受講者7名 指導者2名 審査員2名 |
| 3 | IHF レクチャーラー研修会 ※派遣中止 | 3/6-8 | ハンガリー | IHF より福島亮一を指名 |
| | 第5回レフェリアカデミー※中止 | 3/14・15 | 東京都 | 受講者7名 指導者2名 |
| | GRTP コース ※延期 | 3/25-4/4 | クウェート | 白井 健・河合威延 古川英樹・村田哲郎 を派遣 |

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、その他の諸手続（総務専門委員会）
- (2) 審判研修用資料の企画・制作（審査指導専門委員会、競技規則研究専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（審判委員長、副委員長、連盟審判長）
- (4) 国際情報収集と競技規則書（インドア、ビーチ）他解説書等の作成（国際専門委員会、競技規則研究専門委員会）
- (5) 他委員会等との連携強化（審判委員長、副委員長、日本リーグ審判専門委員会）

3) A/B級公認審判員審査結果

| | 平成 29(2017)年度 | | 平成 30(2018)年度 | | 令和元(2019)年度 | |
|---------|---------------|-----|---------------|-----|-------------|-----|
| | A 級 | B 級 | A 級 | B 級 | A 級 | B 級 |
| 審査申請者 | 54名 | 53名 | 47名 | 85名 | 51名 | 71名 |
| 書類不備 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| 欠席 | 6名 | 3名 | 3名 | 4名 | 4名 | 6名 |
| 筆記試験不合格 | 3名 | 6名 | 2名 | 4名 | 11名 | 14名 |
| 実技試験不合格 | 15名 | 8名 | 27名 | 14名 | 29名 | 8名 |
| 体力試験不合格 | 3名 | 1名 | 2名 | 0名 | 9名 | 1名 |
| 合格者 | 32名 | 35名 | 16名 | 63名 | 15名 | 49名 |

※令和元(2019)年度 A級：実技・体力・筆記不合格5名，筆記・実技ともに不合格5名
 実技・体力ともに不合格2名，筆記・体力ともに不合格1名
 B級：筆記・実技ともに不合格7名

4) 公認審判員登録状況 ()内は女性

| 級 | 平成 29(2017)年度 | 平成 30(2018)年度 | 令和元(2019)年度 |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| 終身 | 82名 (0名) | 79名 (1名) | 77名 (2名) |
| 国際 | 12名 (2名) | 12名 (2名) | 14名 (2名) |
| A 級 | 328名 (17名) | 337名 (19名) | 340名 (17名) |
| B 級 | 449名 (28名) | 432名 (28名) | 451名 (29名) |
| C 級 | 871名 (129名) | 903名 (142名) | 1,009名 (184名) |
| D 級 | 1,625名 (351名) | 1,544名 (322名) | 1,675名 (313名) |
| 計 | 3,367名 (527名) | 3,307名 (514名) | 3,566名 (547名) |

※2020年1月15日現在

9. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

| 日程 | カテゴリー/参加者 | 大会名称 | 開催地 |
|-----|----------------|------------------------|--------------|
| 4月 | 男女日本リーグ代表チーム | 第16回東アジアクラブ選手権 | 韓国、仁川 |
| | TD、審判員 | 同上 | 同上 |
| | 役員 | E A H F 会議 | 同上 |
| 5月 | 審判員 | IHF チャレンジトロフィー | 台北 |
| 6月 | 男女ビーチ | 第7回男女ビーチハンドボールアジア選手権 | 中国、ウェイハイ |
| | 女子代表 | JAPAN CUP 2019 (WOMEN) | 東京、NTC |
| | 審判員 | 同上 | 同上 |
| | 男女代表 | 日韓定期戦 2019 | 東京、立川 |
| | 男子代表 | JAPAN CUP 2019 (MEN) | 東京、立川 |
| | 審判員 | 同上 | 同上 |
| | 男子ジュニア U-21 | 4 Nations Cup | ポルトガル、ポルト |
| | 男子ジュニア U-21 | 欧州遠征 | フランス、パリ近郊 |
| 7月 | 男子 U-22 (関東選抜) | アジア (U22) 選手権 | 香港、九龍 |
| | 女子 U-22 (関西選抜) | アジア (U22) 選手権 | 香港、九龍 |
| | TD、審判員 | 同上 | 同上 |
| | 役員 | アジア (旧 EAHF) 会議 | 同上 |
| | 男子ジュニア U-21 | 第22回男子ジュニア世界選手権 | スペイン |
| | 女子ジュニア U-20 | 第15回女子ジュニアアジア選手権 | レバノン、バイルート |
| | 男子ユース U-19 | 第8回男子ユース欧州遠征 | ドイツ |
| | 役員 | IHF 総会 | スウェーデン、ヨーテボリ |
| | AHF 理事 | AHF 理事会、IHF 総会 | 同上 |
| | IHF 理事 | IHF 理事会、IHF 総会 | 同上 |
| 8月 | オムロン | IHF Super Globe 2019 | 中国、無錫 |
| | 男子ユース U-19 | 第8回男子ユース世界選手権 | 北マケドニア |
| | 女子ユース U-18 | 第8回女子ユースアジア選手権 | インド |
| | 審判員 | 同上 | 同上 |
| | 男女 JOC ジュニア | 第27回日韓中ジュニア交流競技会 | 中国、湖南省 |
| 9月 | 女子 U-16 | 日韓スポーツ交流 (派遣) | 韓国、済州 |
| | 男子 U-16 | 日韓スポーツ交流 (派遣) | 韓国、済州 |
| | TD、審判員 | オリンピック女子アジア予選 | 中国、滁州 |
| 10月 | 男女 U-16 | 日韓スポーツ交流 (受入) | 熊本、山鹿 |
| | 男子 U-16 | 日韓スポーツ交流 (受入) | 愛知県、名古屋市 |
| | TD、審判員 | オリンピック男子アジア予選 | カタール、ドーハ |

| | | | |
|-----|--------|---|----------|
| | 審判員 | REFRESHMENT COURSE | 同上 |
| | TD | IHF チャレンジトロフィー | ニューカレドニア |
| 11月 | 女子代表 | JAPAN CUP 2019 渋谷 | 日本、渋谷 |
| 12月 | 女子代表 | 第24回女子世界選手権 | 熊本、熊本市ほか |
| | 審判員 | 同上 | 同上 |
| | IHF 理事 | 同上 | 同上 |
| 1月 | 男子代表 | 第19回男子アジア選手権 | クウェート |
| | TD、審判員 | 同上 | 同上 |
| | TD、審判員 | 第19回男子 | |
| 2月 | IHF 理事 | IHF 理事会 | エジプト、カイロ |
| 3月 | 審判員 | GRIP REFEREE COURSE 2020 ※コロナ感染拡大で開催中止 | クウェート |
| | TD | IHF レクチャーセミナー ※コロナ感染拡大で開催中止 | ハンガリー |

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) IHF 関係

- ① 第5回 IHF 理事会（スウェーデン、ヨーテボリ）
- ② 第6回 IHF 理事会（エジプト、カイロ）
- ③ IHF 理事会などの議事内容の翻訳作業を実施した。
- ④ 各種大会や役員・レフェリー派遣業務の連絡調整を実施した。
- ⑤ IHF に関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施した。

(2) AHF 関係

- ① テクニカルデレゲートならびにレフェリーの派遣に関する手続きを実施した。
- ② 各カテゴリーのアジア選手権参加のサポートを実施した。
- ③ AHF 会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。

(3) EAHF 関係

- ① 4月 EAHF 会議（韓国、仁川）
- ② 7月 EAHF 会議（香港、九龍）
- ③ EAHF 会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。
- ④ EAHF に関する諸連絡を実施した。

3) その他の事業

- (1) 国際競技力向上を目的とし、全ての国際大会への手続きを、事務局の国際対応機能を中心として対応した。
 - 出場権を得た全ての大会にチームを滞りなく派遣することができたほか、関連する諸外国等機関との連携強化を図ることができた。
- (2) IHF、AHF および諸外国との関係強化および連携を目的とし、IHF/AHF 総会等へ出席した。
 - 国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
- (3) IHF 国際コーチコースの受け入れ・運営を担当した。
 - 高い国際的信頼を得るとともに、次回以降の国際行事受け入れの期待感を得られた。
- (4) 上記コースへの対応に伴い、IHF 役員への対応とディスカッション機会を得て、IHF との具体的な連携強化について合議した。

- 女子世界選手権の開催に IHF 及び IHF の派遣役員の力強い協力を得ることができた。
 - 東京オリンピック・パラリンピックに向けた、関連行事等への協力体制ビジョンが共有できた。
- (5) JOC 各種ミーティングに参加し、国際力強化を図った。
- 各 NF との連携強化を確認し、東京オリンピック・パラリンピックへの協力体制を中心とし、国際力向上の機能強化を推進できた。

7. ハンドボール成長推進に関する事業

1) JAPAN CUP 2019 及び日韓戦について

2019 年度の JAPANCUP は 6 月と 11 月の 2 回で実施した。

<6 月>

東京立飛アリーナで、男女の日韓戦および男子の JAPANCUP にスウェーデンを迎え、初の WEEK 開催として大会を試みた。入場者数、スポンサー獲得が出来ず、収入に苦戦した。

会場：アリーナ立川立飛（東京都立川市）

[2019 日韓戦]

| | | | | | |
|------|----|------|----|------|-------------|
| 6/19 | 女子 | 日本代表 | vs | 韓国代表 | 観客数：1,130 人 |
| | 男子 | 日本代表 | vs | 韓国代表 | 観客数：1,313 人 |

[JAPANCUP2019 (MEN)]

| | | | | | |
|------|----|------|----|----------|-------------|
| 6/20 | 男子 | 日本代表 | vs | スウェーデン代表 | 観客数：1,125 人 |
| 6/22 | 男子 | 日本代表 | vs | スウェーデン代表 | 観客数：1,485 人 |

[JAPANCUP2019 (WOMEN)]

| | | | | | |
|------|----|------|----|------|------------------------|
| 6/17 | 女子 | 日本代表 | vs | 中国代表 | 中国の要望により無観客試合で実施 (NTC) |
|------|----|------|----|------|------------------------|

<11 月>

東京 2020 テストイベントとして、熊本世界選手権に出場する海外の代表 3 チームを迎え、東京組織委員会とのタイアップし、運営、オフィシャル、コートなどオリンピックを見据えた大会とした。

[会場] 国立代々木競技場（代々木第一体育館）（東京都渋谷区）

[JAPAN CUP 渋谷 2019 (WOMEN)]

| | | | | | |
|-------|----|------|----|---------|-------------|
| 11/21 | 女子 | 日本代表 | vs | スロベニア代表 | 観客数：890 人 |
| 11/23 | 女子 | 日本代表 | vs | フランス代表 | 観客数：2,100 人 |
| 11/24 | 女子 | 日本代表 | vs | ブラジル代表 | 観客数：2,300 人 |

2) ヒロシマ国際

7/26～7/29 韓国（光州都市公社）と中国（山東省）の女子クラブチームを招聘し、開催地の日本リーグチームであるイズミと学生チャンピオンの大阪体育大学を加えて国際親善試合を開催。

（主管：広島県協会）

3) 第 71 回日本ハンドボール選手権大会

女子代表が第 24 回世界選手権（熊本県）に出場することと男子代表が第 19 回アジア選手権（クエート）に出場による代表強化として、男子の部を日程に変更して男女別開催とした。男子の部（11/19～11/24）は東京協会、女子の部（12/24～12/28）は大阪協会への委託方式で開催した。また、男子の会場については東京 2020 のテストイベントとして国立代々木競技場（代々木第一体育館）で女子の JAPANCUP との併催にて行った。

4) ビーチ専門委員会

【年間行事】

| | イベント名 | 日程 | 場所 |
|---|--------------------|---------|---------|
| 1 | ビーチハンド日本代表選手選考会 | 4/6-7 | 千葉県南房総市 |
| 2 | 第1回ビーチハンド強化合宿 | 6/1-2 | 千葉県南房総市 |
| 3 | 第7回ビーチハンドボールアジア選手権 | 6/15-24 | 中国・威海市 |
| 4 | 第1回ビーチ専門委員会 | 7/20 | 愛知県碧南市 |
| 5 | 第21回全日本ビーチハンド選手権大会 | 7/20-21 | 愛知県碧南市 |
| 6 | ビーチハンド初心者&審判講習会 | 8/24 | 茨城県行方市 |

【大会結果】

| | |
|------------------------|---|
| 第7回ビーチハンドボール アジア選手権 | <p>【男子】</p> <p>優勝：カタール、2位：オマーン、3位：イラン、4位：ベトナム、5位：タイ、6位：パキスタン、7位：チャイニーズタイペイ、8位：フィリピン、9位：サウジアラビア、10位：日本、11位：アフガニスタン、12位：インドネシア</p> <p>【女子】</p> <p>優勝：中国、2位：ベトナム、3位：チャイニーズタイペイ、4位：タイ、5位：香港、6位：日本</p> |
| 第21回全日本ビーチハンド選手権大会 | <p>【男子】</p> <p>優勝：東海 Weeds!A、準優勝：東海 Weeds!B、3位：MJ クラブ</p> <p>【女子】</p> <p>優勝：KUNOICHI、準優勝：日本体育大学、3位：東海 Weeds!</p> |

◆ ビーチハンドボールプロジェクト

IHFとの折衝の末、2020年東京オリンピック開催時に渋谷区内においてショーケースとして実施することが決定された。オリンピック延期にともない、詳細は未定のまま。全日本ビーチハンド選手権大会において、碧南緑地ビーチコートでは、工業地帯にあり駅から遠いことから集客が見込めない。神奈川県、三浦市、神奈川県協会へ打診し、了承済み。駅から近く、宿泊施設も充実し、海水浴客の流入も見込める。9月5日、6日で開催予定。

ビーチ専門委員会直接の事業ではないが、「いきいき茨城ゆめ国体2019」において、デモンストレーションスポーツのカテゴリーではあったが、国体において初めてビーチハンドボール競技が2019/8/25茨城県行方市水郷筑波国定公園天王崎公園砂浜特設コートで開催された。選手、スタッフ、観客を含めて449名が参加し、大会を盛り上げた。

5) 戦略企画委員会

ポスト東京五輪を見据えた自立運営に向けて、会長直下の「戦略企画委員会」を新設。多方面で活躍する上級人材4名を兼業・副業にて戦略プロデューサーとして迎え、ハンドボール競技体験の向上、教育プログラム、ビーチハンドボール等をテーマに活動開始。2019年9月にはスポーツ庁が推進する、あらゆる産業との共創により新たなサービス・価値の創出を図り、スポーツの成長産業化を目指す、Sports Open Innovation Platform (SOIP) とコラボレーションし、事業アイデアをスポーツに実装するプログラム「SPORTS BUSINESS BUILD」に参加。4件の事業アイデアを採択し、今後実装を図っていく。

8. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

- (1) 評議員会 6/30(東京)、2/22(書面開催)
- (2) 理事会 6/8(東京)、7/6(臨時・東京)、10/31(書面開催)、11/16(東京)、
2/15 東京)
- (3) 常務理事会 4/6(東京)、5/18 東京)、9/1(東京)、1/18(東京)、3/20(東京)
- (4) 全国理事長会議 10/ 2(茨城)、2/16(東京)

2) 他団体との連携強化

- (1) 事務所移転
時期：2019年10月、場所：Japan Sport Olympic Square（東京都新宿区霞ヶ丘）
日本スポーツ協会、JOC、他競技団体等との連携強化を目的に移転。

3) 「がんばれハンドボール20万人会」サポート会

- (1) JHAにおける位置付け（後援会またはファンクラブ）の整理を開始

2019年度サポート会員総数（2020年3月31日現在（カッコ内は前年比）

| | | |
|--------------------------|--------|----------|
| 特別会員 | 0名 | （ ±0） |
| グランド会員 | 196名 | （ +3） |
| フレンド会員（旧ファミリー会員） | 27名 | （ +24） |
| ジュニア会員 | 4名 | （ +2） |
| 都道府県フレンド会員（旧都道府県ファミリー会員） | 194名 | （ ▲83） |
| 都道府県グループ会員 | 9,002名 | （▲1,572） |
| 総数 | 9,505名 | （▲1,626） |

9. 財務・会計に関する事項

当期、主なものとしては、第24回女子世界選手権熊本の開催、助成金事業（JAPAN RISING STAR PROJECT）が新規の事業となったこと、新型コロナウイルスの影響により3月開催予定であった3大会（第44回日本リーグプレーオフ、第43回全国高等学校ハンドボール選抜大会、第15回春の全国中学生選手権大会）の中止があげられる。

経常収益は、新型コロナウイルスの影響で、日本リーグプレーオフが中止となり入場料収入および広告料収入が減少したもののマーケティング収入、受取補助金等が増加したため、前期比20百万円増加の957百万円となった。経常費用は、前期に開催された東アジアクラブ選手権により旅費交通費等が減少し、前期比6百万円減少の1,010百万円となった。その結果、当期経常増減額は、前期比27百万円増加の△52百万円となった。

また、特定資産については、JAPAN CUP開催により36百万円、男子代表・男女ユースのアジア・世界選手権出場により10百万円、欧州遠征により19百万円、女子選手権開催により81百万円、合計146百万円を取り崩し、次期以降の事業および日本リーグ法人化に伴う積立とし、114百万円を新たに積立て、当期末残高134百万円となった。

10. スポーツ・インテグリティに関する事項

1) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

(1) 医事専門医委員会／アンチ・ドーピング特別委員会合同会議

(第1回) 7月28日(日)、北九州市

出席委員 3名

①2019年度インテグリティ推進本部における医事委員会の構成について

(第2回) 11月21日(日)、代々木第一体育館

出席委員 4名

① 2019/2020年度医事委員会の体制について

② アンチ・ドーピング関連

③ 熊本世界選手権・東京2020における医事体制について

(第3回) 12月8日(日)、熊本市

出席委員 4名

① 2020年度医事委員会活動について

② アンチ・ドーピング関連

③ 東京2020における医事体制について

(2) 2019年度 おりひめジャパン コンディショニングクリニック

2019年5月14日(火)～5月25日(土)、味の素ナショナルトレーニングセンター

おりひめジャパン候補選手 30名

① ハンドボールに関する各種測定(フィールド測定・筋力測定等)

② 動作機能評価と修正トレーニング・競技スキル

③ バランスチェック・傷害調査・セルフコンディショニングツール(ONE-TAP)

④ 栄養指導・ドーピング指導・メンタル指導・行動規範指導

(3) アンチ・ドーピング啓発事業

*アンチ・ドーピング研修会

① ビーチハンドボール日本代表(男女)強化合宿(6月1日 南房総市 佐久間)

② 各カテゴリー日本代表強化合宿(6月 沖本、貝沼、井本)

③ ハンドボールトレーナー部会(7月7日 NTC 井本)

④ 東日本学生選手権大会(8月11日 富山市 佐久間)

⑤ 西日本学生選手権大会(8月13日～16日 豊田市 貝沼)

⑥ 全国高等専門学校選手権大会(8月22日 周南市 沖本)

⑦ 高松宮杯全日本大学選手権(11月7日 仙台市 佐久間)

⑧ NTSセンタートレーニング(1月4日～5日 NTC 貝沼)

⑨ NTSセンタートレーニング(1月11日～12日 NTC 貝沼)

⑩ ハンドボールトレーナー部会(7月7日 NTC 井本)

*アウトリーチ

① 東日本学生選手権大会(8月12日～13日 富山市 佐久間、原田)

② 西日本学生選手権大会(8月14日～16日 豊田市 古谷野)

③ 高松宮杯全日本大学選手権(11月8日～9日 仙台市 佐久間、古谷野)

④ 女子ハンドボール世界選手権(12月6日～11日、熊本市 坂本、貝沼)

*NFR 派遣

①高松宮記念杯第9回全日本社会人選手権(5月8日～5月12日 福井市、永平寺町)

②ジャパンオープントーナメント(8月9日～8月13日 霧島市)

③高松宮杯全日本大学選手権(11月8日～12日 仙台市、利府町)

- (4) 第24回女子ハンドボール世界選手権活動（11月30日～12月15日）
 トーナメントメディカルディレクター（佐久間）
 エリアマネージャー（陣上）
 マッチドクター（北岡、沖本、大西、丸箸、貝沼、村上）
- (5) ジャパンライジングスタープロジェクト 3期生拠点県合宿医務班（熊本県 山鹿市）
 12月23日～26日、1月31日～2月2日（佐久間）
- (6) （公財）日本体育協会公認スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティック
 トレーナー受講者推薦
- (7) 共同研究報告書（2019年4月20日）
 「ハンドボール日本代表選手における強化合宿期間中のタンパク質代謝の把握」
 味の素株式会社 オリンピック・パラリンピック推進室 室長 村上 崇

2) スポーツ・インテグリティ教育（インテグリティ専門委員会）

*アンチ・ドーピング研修会

- ⑪ 各カテゴリー日本代表強化合宿（6月 沖本、貝沼、井本）
- ⑫ ハンドボールトレーナー部会（7月7日 NTC 井本）
- ⑬ 東日本学生選手権大会（8月11日 富山市 佐久間）
- ⑭ 西日本学生選手権大会（8月13日～16日 豊田市 貝沼）
- ⑮ 全国高等専門学校選手権大会（8月22日 周南市 沖本）
- ⑯ 高松宮杯全日本大学選手権（11月7日 仙台市 佐久間）
- ⑰ NTS センタートレーニング（1月4日～5日 NTC 貝沼）
- ⑱ NTS センタートレーニング（1月11日～12日 NTC 貝沼）
- ⑲ ハンドボールトレーナー部会（7月7日 NTC 井本）

*アウトリーチ

- ⑤ 東日本学生選手権大会（8月12日～13日 富山市 佐久間、原田）
- ⑥ 西日本学生選手権大会（8月14日～16日 豊田市 古谷野）
- ⑦ 高松宮杯全日本大学選手権（11月8日～9日 仙台市 佐久間、古谷野）
- ⑧ 女子ハンドボール世界選手権（12月6日～11日、熊本市 坂本、貝沼）

*暫定聴聞会及び聴聞会（日本アンチ・ドーピング規律パネル）

<11月1日 港区 佐久間、陣上、原田>

3) ガバナンス・コンプライアンス

スポーツ団体ガバナンスコード遵守に向けた取り組み

- ・適切な組織運営を確保するための役員等の体制整備
 外部理事、女性理事の目標割合達成に向けた取り組みに着手。
 （2019年6月の役員改選で女性理事が2名から6名に）
- ・懲罰制度の構築
 登録者規程を見直し、処分の基準を明確化
- ・地方組織等に対するガバナンスの確保等に係る指導、助言及び支援
 加盟団体規程を制定。不適切な経理処理があった加盟団体に対する支援開始。

1 1. 広報に関する事業

1) 広報

(1) 主な広報活動

- ① 定期記者発表(7/8 日本リーグ)
- ② 主要な大会・関連取材
(6/19 日韓定期戦、6/20 JAPAN CUP、6/21 女子世界選手権ドロー会議、6/22 JAPAN CUP、10/16 女子世界選手権熊本記者会、11/12 女子世界選手権代表発表、11/19～24 男子日本選手権& JAPAN CUP、11/29～12/15 女子世界選手権、12/23 男子アジア選手権代表発表、12/24～28 女子日本選手権)
- ③ 代表合宿メディア公開
(6/6=男子代表、6/13=女子代表、11/18=女子代表、12/23=男子代表)
- ④ ハンドボールサロン開催 3 回 (7, 9, 10 月)
- ⑤ プレスリリース(メールによるリリースも含む)
(男女日本代表情報、各カテゴリー大会・国内大会結果配信、2019 女子世界選手権関連他多数)

(2) マスコミ(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他)の個別取材調整 2019 女子世界選手権、2020 東京オリンピック大会の影響もあり、多数

(3) 試合放映

- ① テレビ中継
11/23 : 男子日本選手権決勝 =NHK E テレ
11/30～12/15:
: 女子世界選手権 日本代表戦・準決勝・決勝 = J スポーツ
- ② インターネット配信 3 回(計 1 1 試合)
6/19, 20, 22: 日韓定期戦、JAPAN CUP
11/21～24 : 男子日本選手権、JAPAN CUP
12/26～28 : 女子日本選手権

(4) 肖像規程策定選手、監督などの肖像

使用及び運用について規程策定
代表選手への説明会 (11/7=女子代表、12/21=男子代表)
選手などのマスコミ出演、広告起用に関する管理作業

(5) 映画(#ハンド全力) 製作特別協力

(6) 気運醸成

- ① 2019 熊本世界選手権
- ② 2020 東京オリンピック (Let' S 55、渋谷区との連携)

2) インターネット

- (1) 協会ホームページによる情報発信
- (2) 協会公式 SNS=facebook、instagram、youtube
日本代表応援団=twitter、instagram
*現在のフォロワー 公式 facebook=約 10,000-
公式 instagram=約 6,000-
応援団 twitter=約 5,000-
応援団 instagram=約 4,000-

3) 機関誌

- (1) 当初計画通り、年間 12 回の毎月発行を実施
- (2) 大会報告については、日本協会ホームページに掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用し、編集業務を軽減
- (3) 施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、会議録の掲載のほか事業計画、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載

1 2. マーケティングに関する事業

1) マーケティング収入

収入予算 (170 百万円) に対して実績 98.6% (前年比 117.0%)

2) 協賛社との契約

- (1) 既存オフィシャル・パートナー、オフィシャル・スポンサーの契約継続
協賛メニューの運用
JAPAN CUP、女子世界選手権などでの ViP 接遇
- (2) オフィシャル・スポンサー新規 1 社契約
- (3) JAPAN CUP、日本選手権など個別大会協賛社の獲得
- (4) オフィシャルツーリスト 4 社による旅行会社登録制度の運用
- (5) 販売・配布用新規グッズの開発

1 3. アスリート支援に関する事業

1) 関連団体・上部団体の意図するアスリート委員会に関する調査

- (1) 選手強化、オリンピック・ムーブメントの推進その他の本会の事業の執行におけるアスリートの関与に関すること
- (2) クリーンなアスリートの保護および支援活動に関すること
- (3) アスリート委員会的機能の各機関 (外部団体含) との連携及び連絡調整に関すること
- (4) その他関連する事業に関すること

2) 日本ハンドボール協会に相応しい本委員会機能の在り方に関する検討

- (1) 競技発展に向けたアスリート機能の可能性について
- (2) アスリート委員会からの意見具申の在り方について
- (3) 他競技との連携について
- (4) 上部団体との連携について
- (5) 本協会内、他部署との連携について
- (6) 国際的連携について
- (7) アスリート委員会の規程策定について
- (8) アスリート環境調査について (調査範囲の検討)

14. 日本リーグに関する事業

1) 第44回日本ハンドボールリーグ

- 大会名 第44回日本ハンドボールリーグ
主催 公益財団法人日本ハンドボール協会、日本ハンドボールリーグ機構
主管 日本ハンドボールリーグ委員会、開催地都道府県ハンドボール協会
開催権取得団体
- 開催期間 レギュラーシーズン 2019年7月13日(土)～2020年3月1日
プレーオフ 2020年3月13日(金)、14日(土)、15日(日)
- 競技方法 男子10チーム(3回戦総当り)、女子9チーム(2回戦総当り)
レギュラーシーズン(リーグ戦)をおこなう。
男子上位4チーム、女子上位4チームによるプレーオフを実施。
プレーオフは、ステップラダー方式によるトーナメント戦
- 参加チーム 全19チーム
- [男子]
- ・ トヨタ自動車東日本 REGAROSSO
 - ・ 大崎電気 OSAKI OSOL
 - ・ 北陸電力ブルーロケッツ
 - ・ 大同特殊鋼 Phenix
 - ・ トヨタ車体 BRAVE KINGS
 - ・ 豊田合成 Blue Falcon
 - ・ 湧永製薬 WAKUNAGA LEOLIC,
 - ・ ゴールデンウルヴス福岡
 - ・ トヨタ紡織九州 Red Tornado
 - ・ 琉球コラソン
- [女子]
- ・ プレステージ・インターナショナル アランマーレ
 - ・ 北國銀行 Honey Bee
 - ・ 飛騨高山ブラックブルズ岐阜
 - ・ HC名古屋
 - ・ 三重バイオレットアイリス
 - ・ 大阪ラヴィッツ
 - ・ イズミメイプルレッズ
 - ・ オムロン ピンディーズ
 - ・ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング Blue Sakuya
- 順位 ※レギュラーシーズン第23週及びプレーオフが中止となったため規程により
レギュラーシーズン順位に基づき最終順位とした
- [男子レギュラーシーズン順位]

| 順位 | 男子 | 大崎電気 | 大同特殊鋼 | 豊田合成 | トヨタ車体 | 湧永製薬 | トヨタ自動車東日本 | トヨタ紡織九州 | 北陸電力 | 琉球コラソン | ウルヴス福岡 | 試合数 | 勝数 | 引分数 | 敗数 | 総得点 | 総失点 | 差 | 勝点 |
|----|-------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----|----|-----|----|-----|-----|------|----|
| 1 | 大崎電気 | | 27 35 16 ○ ○ △ 25 27 16 | 32 31 32 ○ ○ ○ 29 26 29 | 27 27 36 ○ ○ ○ 26 24 34 | 22 32 27 ○ ○ ● 17 26 28 | 21 29 27 ● ○ △ 26 24 27 | 31 31 30 ○ △ ○ 26 31 22 | 29 32 34 ○ ○ ○ 22 25 23 | 35 29 34 ○ ○ ○ 22 24 25 | 50 36 34 ○ ○ ○ 18 15 20 | 27 | 22 | 3 | 2 | 826 | 657 | 169 | 47 |
| 2 | 大同特殊鋼 | 25 27 16 ● ● △ 27 35 16 | | 26 26 33 △ ● ○ 26 31 28 | 28 31 30 ○ ● ● 27 33 32 | 22 32 27 ○ ● ○ 17 26 28 | 21 29 27 ● ○ △ 26 24 27 | 31 31 30 ○ ○ ○ 30 23 27 | 29 32 34 ○ ○ ○ 22 25 23 | 35 29 34 ○ ○ ○ 22 24 25 | 50 36 34 ○ ○ ○ 18 15 20 | 27 | 19 | 2 | 6 | 791 | 685 | 106 | 40 |
| 3 | 豊田合成 | 29 26 29 ● ● ● 27 35 16 | 26 31 28 △ ○ ○ 26 26 33 | | 29 33 16 ○ ○ △ 28 27 16 | 22 32 27 ○ ● ○ 17 26 28 | 21 29 27 ● ○ △ 26 24 27 | 31 31 30 ○ ○ ○ 30 23 27 | 29 32 34 ○ ○ ○ 22 25 23 | 35 29 34 ○ ○ ○ 22 24 25 | 50 36 34 ○ ○ ○ 18 15 20 | 27 | 17 | 5 | 5 | 800 | 673 | 127 | 39 |
| 4 | トヨタ車体 | 26 24 34 ● ● ● 27 35 16 | 27 33 32 ○ ○ ○ 26 26 33 | 28 27 16 ● ● △ 26 31 28 | | 22 32 27 ○ ● ○ 17 26 28 | 21 29 27 ● ○ △ 26 24 27 | 31 31 30 ○ ○ ○ 30 23 27 | 29 32 34 ○ ○ ○ 22 25 23 | 35 29 34 ○ ○ ○ 22 24 25 | 50 36 34 ○ ○ ○ 18 15 20 | 27 | 18 | 2 | 7 | 836 | 670 | 166 | 38 |
| 5 | 湧永製薬 | 17 26 28 ● ● ● 22 32 27 | 27 27 26 ○ ○ ○ 33 29 25 | 30 27 21 ● ● ● 26 31 28 | 29 21 25 ○ ● ○ 27 33 32 | | 26 25 26 ○ ● ○ 27 22 24 | 24 25 28 ○ ○ ○ 26 22 25 | 30 30 16 ○ ○ △ 27 23 16 | 28 26 25 ○ ○ ○ 15 21 14 | 39 28 34 ○ ○ ○ 17 20 17 | 27 | 15 | 1 | 11 | 714 | 665 | 49 | 31 |
| 6 | トヨタ自動車東日本 | 26 24 27 ○ ○ △ 21 29 27 | 30 23 27 ○ ○ ● 34 28 31 | 33 29 25 ○ ○ ○ 33 31 23 | 32 39 24 ○ ○ ● 29 21 25 | 27 22 24 ○ ● ● 26 25 26 | | 27 27 16 ○ ○ ○ 32 26 16 | 29 26 26 ○ ○ ○ 25 25 23 | 31 29 27 ○ ○ ○ 21 28 14 | 35 30 30 ○ ○ ○ 15 20 22 | 27 | 13 | 2 | 12 | 706 | 697 | 9 | 28 |
| 7 | トヨタ紡織九州 | 26 31 22 ○ ● ● 31 31 30 | 31 23 24 ○ ○ ○ 32 24 28 | 28 27 24 △ △ △ 28 27 26 | 32 24 22 △ ● ● 32 35 28 | 26 22 25 ○ ○ ○ 24 25 28 | 32 26 16 ○ ● △ 27 27 16 | | 28 24 26 ○ ● ○ 25 25 22 | 24 26 26 ○ ○ ○ 21 22 24 | 28 34 27 ○ ○ ● 14 18 29 | 27 | 9 | 5 | 13 | 704 | 699 | 5 | 23 |
| 8 | 北陸電力 | 22 25 23 ● ● ● 29 32 34 | 24 28 22 ○ ○ ○ 31 31 35 | 21 26 23 ○ ○ ○ 36 26 31 | 24 26 18 ○ ○ ○ 33 37 37 | 15 21 14 ○ ○ ○ 28 26 25 | 21 28 14 ○ ○ ○ 31 29 27 | 25 25 23 ○ ○ ○ 24 26 26 | 22 24 22 ○ ○ ○ 25 33 28 | 25 33 28 ○ ○ ○ 22 24 22 | 28 26 16 ○ ○ ○ 26 22 16 | 27 | 6 | 2 | 19 | 677 | 762 | -85 | 14 |
| 9 | 琉球コラソン | 22 24 25 ○ ○ ● 35 29 34 | 21 20 24 ○ ○ ○ 32 27 36 | 24 27 19 ○ ○ ○ 30 34 31 | 30 20 18 ○ ○ ○ 35 23 30 | 15 21 14 ○ ○ ○ 28 26 25 | 21 28 14 ○ ○ ○ 31 29 27 | 25 25 23 ○ ○ ○ 24 26 26 | 22 24 22 ○ ○ ○ 25 33 28 | 25 33 28 ○ ○ ○ 22 24 22 | 28 26 16 ○ ○ ○ 26 22 16 | 27 | 2 | 1 | 24 | 592 | 768 | -176 | 5 |
| 10 | ゴールデンウルヴス福岡 | 18 15 20 ○ ● ● 50 36 34 | 11 23 19 ○ ○ ○ 32 32 30 | 15 23 14 ○ ○ ○ 40 35 35 | 20 16 18 ○ ○ ○ 38 42 28 | 17 20 17 ○ ○ ○ 39 28 34 | 15 20 22 ○ ○ ○ 35 30 30 | 14 18 29 ○ ○ ○ 28 34 27 | 20 19 28 ○ ○ ○ 37 34 27 | 26 22 16 ○ ● △ 28 26 16 | | 27 | 2 | 1 | 24 | 515 | 885 | -370 | 5 |

[女子レギュラーシーズン順位]

| 順位 | 女子 | 北國銀行 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング | イ・エム・メイト | 三重バレーソフト | オムロン | アレスター・インターナショナル | H C 名古屋 | 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 | 大阪ラヴィッツ | 試合数 | 勝数 | 引分数 | 敗数 | 総得点 | 総失点 | 差 | 勝点 |
|----|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| 1 | 北國銀行 | | 30 16 ○ △ 21 16 | 28 28 ○ ○ 24 19 | 27 24 ○ ● 22 32 | 25 22 ○ △ 24 22 | 33 29 ○ ○ 19 16 | 36 33 ○ ○ 19 13 | 39 16 ○ △ 17 16 | 29 27 ○ ○ 24 26 | 16 | 12 | 3 | 1 | 442 | 330 | 112 | 27 |
| 2 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング | 21 16 ● △ 30 16 | | 17 16 ● △ 25 16 | 27 31 ○ ○ 23 21 | 22 24 ○ ○ 20 21 | 29 24 ○ ○ 21 21 | 24 23 ○ ○ 17 20 | 33 26 ○ ○ 25 22 | 26 32 ○ ○ 25 25 | 16 | 12 | 2 | 2 | 391 | 348 | 43 | 26 |
| 3 | イズミメイプルレッズ | 24 19 ● ● 28 28 | 25 16 ○ △ 17 16 | | 22 16 ○ △ 21 16 | 22 21 ○ △ 24 21 | 28 21 ○ ● 25 24 | 20 26 ○ ○ 16 15 | 33 26 ○ ○ 13 18 | 28 26 ○ ○ 25 18 | 16 | 9 | 3 | 4 | 373 | 325 | 48 | 21 |
| 4 | 三重バレーソフト | 22 32 ● ○ 27 24 | 23 21 ○ ○ 27 31 | 21 16 ○ △ 22 16 | | 29 24 ○ ● 28 26 | 34 21 ○ ○ 23 16 | 26 26 ○ ○ 20 22 | 34 21 ○ ○ 19 17 | 29 16 ○ △ 24 16 | 16 | 9 | 2 | 5 | 395 | 358 | 37 | 20 |
| 5 | オムロン | 24 22 ● △ 25 22 | 20 21 ○ ● 22 24 | 24 21 ○ △ 22 21 | 28 26 ● ○ 29 24 | | 26 16 △ △ 26 16 | 26 26 ○ ● 24 30 | 21 29 ● ○ 28 22 | 30 24 ○ ○ 20 21 | 16 | 6 | 4 | 6 | 384 | 376 | 8 | 16 |
| 6 | プレステージ・インターナショナルアランマーレ | 19 16 ● ● 33 29 | 21 21 ○ ● 29 24 | 25 24 ○ ○ 28 21 | 23 16 ● ● 34 21 | 26 16 △ △ 26 16 | | 22 16 ● △ 26 16 | 25 23 ○ ○ 18 15 | 25 31 ○ ○ 28 21 | 16 | 4 | 3 | 9 | 349 | 385 | -36 | 11 |
| 7 | H C 名古屋 | 19 13 ● ● 36 33 | 17 20 ○ ○ 24 23 | 16 15 ○ ○ 20 26 | 20 22 ○ ● 26 26 | 24 30 ○ ○ 26 26 | 26 16 ○ △ 22 16 | | 17 16 ● △ 19 16 | 25 28 ○ ○ 22 26 | 16 | 4 | 2 | 10 | 324 | 387 | -63 | 10 |
| 8 | 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 | 17 16 ○ △ 39 16 | 25 22 ○ ● 33 26 | 13 18 ○ ● 33 26 | 19 17 ○ ● 34 21 | 28 22 ○ ● 21 29 | 18 15 ○ ● 25 23 | 19 16 ○ △ 17 16 | | 27 26 ○ ● 23 28 | 16 | 3 | 2 | 11 | 318 | 410 | -92 | 8 |
| 9 | 大阪ラヴィッツ | 24 26 ○ ● 29 27 | 25 25 ○ ● 26 32 | 25 18 ○ ● 28 26 | 24 16 ○ △ 29 16 | 20 21 ○ ● 30 24 | 28 21 ○ ● 25 31 | 22 26 ○ ○ 25 28 | 23 28 ○ ○ 27 26 | | 16 | 2 | 1 | 13 | 372 | 429 | -57 | 5 |

レギュラーシーズン表彰

[男子]

| 表彰項目 | 受賞者名 (チーム名) | 受賞回数 | |
|---------------|-----------------|------|------|
| 年間最優秀選手賞 | 東江 雄斗 (大同特殊鋼) | 2回目 | |
| ベストセブン賞 | 元木 博紀 (大崎電気) | 2回目 | |
| | 橋本 明雄 (豊田合成) | 2回目 | |
| | 杉岡 尚樹 (トヨタ車体) | 2回目 | |
| | 岩下 祐太 (トヨタ紡織九州) | 初 | |
| | 東江 雄斗 (大同特殊鋼) | 3回目 | |
| | 吉野 樹 (トヨタ車体) | 2回目 | |
| 東長濱 秀希 (大崎電気) | 6回目 | | |
| ベストディフェンダー賞 | 玉川 裕康 (大崎電気) | 初 | |
| 最優秀新人賞 | 北詰 明未 (トヨタ車体) | - | |
| 得点王 | 東江 雄斗 (大同特殊鋼) | 2回目 | 197点 |

| | | | |
|------------|-----------------|------|----------------|
| フィールド得点賞 | 東江 雄斗 (大同特殊鋼) | 2 回目 | 170 点 |
| シュート率賞 | 橋本 明雄 (豊田合成) | 2 回目 | 0.799(119/149) |
| 7m スロー得点賞 | 津山 弘也 (トヨタ紡織九州) | 初 | 49 点 |
| シュート阻止率賞 | 岩下 祐太 (トヨタ紡織九州) | 2 回目 | 0.355(305/860) |
| 7m スロー阻止率賞 | 家田 幹太 (北陸電力) | 初 | 0.390(16/41) |
| フェアプレー賞 | ゴールデンウルヴス福岡 | 初 | 3.385 点/試合 |

[女子]

| 表彰項目 | 受賞者名 (チーム名) | 受賞回数 | |
|-------------|----------------------------------|------|----------------|
| 年間最優秀選手賞 | 佐々木 春乃 (北國銀行) | 初 | |
| ベストセブン賞 | 秋山 なつみ (北國銀行) | 初 | |
| | 角南 果帆 (シーセミコンダクタマニファクチャリング) | 2 回目 | |
| | 團 玲伊奈 (三重バイオレットアイリス) | 初 | |
| | 中村 桃子 (イズミメイプルレッズ) | 初 | |
| | 藤井 紫緒 (大阪ラヴィッツ) | 7 回目 | |
| | 佐々木 春乃 (北國銀行) | 2 回目 | |
| | 大山 真奈 (北國銀行) | 初 | |
| ベストディフェンダー賞 | 塩田 沙代 (北國銀行) | 6 回目 | |
| 最優秀新人賞 | 飯塚 美沙希 (プレステージ・インターナショナル アランマーレ) | - | |
| 得点王 | 藤井 紫緒 (大阪ラヴィッツ) | 初 | 102 点 |
| フィールド得点賞 | 藤井 紫緒 (大阪ラヴィッツ) | 初 | 97 点 |
| シュート率賞 | 團 玲伊奈 (三重バイオレットアイリス) | 初 | 0.705(91/129) |
| 7m スロー得点賞 | 佐々木 春乃 (北國銀行) | 初 | 40 点 |
| シュート阻止率賞 | 馬場 敦子 (北國銀行) | 初 | 0.462(188/407) |
| 7m スロー阻止率賞 | 安田 絢恵 (プレステージ・インターナショナル アランマーレ) | 初 | 0.349(15/43) |
| フェアプレー賞 | H C名古屋 | 5 回目 | 3.500 点/試合 |

観客動員数

[観客数]

| | 合計 | 平均 |
|-------------|------------------|--------------|
| 男子 (10 チーム) | 75,621 人 | 582 人 |
| 女子 (9 チーム) | 38,225 人 | 597 人 |
| 合計 | 113,846 人 | 589 人 |

[開催地別集客数]

| | ホームゲーム | | 第3地域 | |
|-------------|----------|-------|----------|---------|
| | 合計 | 平均 | 合計 | 平均 |
| 男子 (10 チーム) | 57,040 人 | 554 人 | 11,826 人 | 1,075 人 |
| 女子 (9 チーム) | 30,351 人 | 690 人 | 2,157 人 | 719 人 |

2) 第11回チャレンジ・ディビジョン

| 東ブロック 順位 | | 西ブロック 順位 | |
|----------|-----------|----------|-------------|
| 1位 | HONDA | 1位 | HC和歌山 |
| 2位 | 東京トライスターズ | 2位 | SOCIO OSAKA |
| 3位 | ブレスド名古屋 | 3位 | HC・MKA奈良 |
| 4位 | トヨタ自動車 | 4位 | HC彦根 |
| 5位 | HC春日井 | 5位 | 八光自動車工業 |

| 順位決定戦 最終順位 | |
|------------|-------------|
| 1位 | HONDA |
| 2位 | 東京トライスターズ |
| 3位 | HC和歌山 |
| 4位 | ブレスド名古屋 |
| 5位 | トヨタ自動車 |
| 6位 | HC・MKA奈良 |
| 7位 | SOCIO OSAKA |
| 8位 | HC彦根 |
| 9位 | 八光自動車工業 |
| 10位 | HC春日井 |

3) 第9回JHLジュニアリーグ試合結果

| 東ブロック 順位 | | | |
|----------|------------------|------|------------------|
| <男子> | | <女子> | |
| 1位 | 北陸電力ジュニアブルーロケッツ | 1位 | 三重バイオレットアイリスジュニア |
| 2位 | 高山ブラックブルズ Jr. | 2位 | 北國ハニービージュニア |
| 3位 | 北國ハニービージュニア | 3位 | 北陸電力ジュニアブルーロケッツ |
| 4位 | 三重バイオレットアイリスジュニア | 4位 | 大同フェニックス東海 |
| 5位 | レガロッソジュニア | 5位 | 高山ブラックブルズ Jr. |
| 6位 | みよし大崎ジュニア | 6位 | ブルーファルコンジュニア |
| 7位 | HC名古屋ハンドボールスクール | 7位 | HC名古屋ハンドボールスクール |
| 8位 | アランマーレジュニア | 8位 | レガロッソジュニア |
| 9位 | ブルーファルコンジュニア | 9位 | アランマーレジュニア |
| 10位 | 大同フェニックス東海 | | |

| 西ブロック 順位 | | | |
|----------|-------------------------|------|-------------------------|
| <男子> | | <女子> | |
| 1位 | 琉球コラソングジュニア | 1位 | 琉球コラソングジュニア |
| 2位 | イズミメイプルレッズジュニア | 2位 | 大阪ラヴィッツみらい |
| 3位 | トヨタ紡織九州 Red Tornado Jr. | 3位 | BlueSakuyaJr. |
| 4位 | BlueSakuyaJr. | 4位 | トヨタ紡織九州 Red Tornado Jr. |
| 5位 | 湧永レオリック安芸高田 | 5位 | オムロンピンディーズジュニア |
| 6位 | オムロンピンディーズジュニア | 6位 | 湧永レオリック安芸高田 |
| | | 7位 | イズミメイプルレッズジュニア |

15. 2019 世界女子選手権プロジェクト

- 1) JHA と熊本県、熊本県協会とのタイアップ
⇒ 実施計画策定専門委員会を立ち上げ（JHA、熊本県協会、熊本県、熊本市、山鹿市、八代市）
- 2) JHA・熊本県国際スポーツ大会推進事務局との情報交換会の実施
- 3) JAPAN カップ 2019(6月東京立飛、11月東京渋谷) を開催
- 4) 日本韓国定期戦（6/19）を開催
- 5) 大会 PR 活動
(1) 各種イベントでの PR（日本選手権、全日本社会人選手権、日本リーグプレーオフ等）
- 6) ハンド議員連盟での PR 活動
(1) 国会議員の方が設立している（ハンド議員連盟）の会議にて熊本世界選手権大会の大成を支援して頂けるようお願いした。

16. 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

- 1) 東京 2020 組織委員会による日本協会イベントの視察対応
(1) Japan Cup 2019 東京：2019年11月21日～24日 国立代々木競技場（代々木第一体育館）
(2) 第24回女子世界選手権：2019年11月30日～12月15日（熊本県）
(3) Japan Cup 2019 東京 / 男子日本選手権（東京テストイベント）の開催に向けて東京 2020 組織委員会との定例会を実施し、開催
- 2) Japan Cup 2019 東京 / 男子日本選手権（東京テストイベント）の開催した
2020 組織委員会との定例会を実施し、オリンピックでの問題点を洗い出した
(1) 競技会場運営及び競技運営、スポーツプレゼンテーション等の視察を実施
- 3) 競技ボランティア募集に向けた関係団体との調整
(1) 競技本部及び全日本学生ハンドボール連盟と連携し、競技本部の会議や全日本学生ハンドボール選手権等において、東京 2020 組織委員会の大会ボランティア募集概要、競技ボ

ランティアの活動事例等を説明し、競技ボランティアとしての参画を促した

4) 東京オリンピックに関する大会準備状況を常務理事会及び理事会において報告

(1) ハンドボール競技に関する準備状況の報告：競技日程、競技会場及び練習会場等大会に関する

準備状況の報告：観戦チケットの販売スケジュール、大会ボランティア等

18. 国際大会に関する事業

1) JAPAN CUP 2019 (WOMEN)

【日程】 6月17日(月) 【会場】 ANTC

【結果】 女子 日本代表 25 (13-9、12-12) 21 中国代表

【備考】 中国代表の要望により無観客試合となった

2) 日韓定期戦 2019

【日程】 6月19日(水) 【会場】 東京立川市・アリーナ立川立飛

【結果】 女子 日本代表 20 (9-13、11-18) 31 韓国代表

男子 日本代表 35 (12-12、23-15) 27 韓国代表

3) JAPAN CUP 2019 (MEN)

【日程】 6月20日(木)、22日(土) 【会場】 東京立川市・アリーナ立川立飛

【結果】 男子 20日 日本代表 25 (12-16、15-7) 30 スウェーデン代表

22日 日本代表 25 (12-18、13-18) 36 スウェーデン代表

【備考】 関東学生連盟の協力により、男女のエキジビジョンマッチ(東西対抗戦)を開催

4) JAPAN CUP 2019 渋谷 (WOMEN)

【日程】 11月21日(木)～24日(日)

【会場】 東京都 国立代々木競技場(代々木第一体育館)

【結果】 21日：日本代表 28 (14-13、14-15) 28 スロベニア代表

23日：日本代表 23 (11-15、12-13) 28 フランス代表

24日：日本代表 22 (14-18、8-10) 28 ブラジル代表